

広報

EGAO えがお PLUS

No.8 2022
12月発行

発行所
神西地区人権・同和教育推進協議会
事務局
神西コミュニティセンター
TEL 43-1001 / FAX 43-9035
MAIL jinza-cc@local.city.
izumo.shimane.jp

中学校での人権・同和教育

8月の「えがお」では、幼稚園の様子を紹介してもらいました。

小さい頃からの関わりの中で、人権を大切にする気持ちは育てられるんですね。

うんうん、そうだね。

「人権感覚」というのは、意識して磨いていくものだとも聞いたことがあります。

11月19日に行われた「神西地区人権・同和教育研究発表会」での発表や掲示にも、子ども達に向けた人権・同和教育の様子が紹介されていました。

たくさんの皆さんに、神西地区の子ども達の教育の場でも、そうした取組があることを知ってもらえるといいですね。

そこで、今回は、中学校での様子を、紹介してもらいます。

すべての教科に『人権・同教育の視点』をもって授業を

～令和4年度島根県教育研究会(出雲大会)の様子から～

令和4年度島根県教育研究会(出雲大会)を10月28日、神戸川小学校・高松小学校・長浜小学校・浜山中学校・河南中学校を会場に行いました。本校には、約50名の県内の教員と関係者が集まりました。

戦を大切にしようとする「こと」があります。これに限らず、日頃からすべての教科において、人権・同和教育の視点をもって授業を進めています。



3年生1クラスで「保健体育」、2年生1クラスで「道徳」を授業公開しました。

保健体育は柔道でした。授業の目標の一つに、「一人一人の違いに応じた課題や挑

道徳の授業は、「足袋の季節」という教材をもとに授業を行いました。主人公が若い時に、足袋を買うお金欲しさに、大福もちを売る貧しいおばあさんから、お釣りを多く貰ったことを後々後悔する。月給がも

らえるようになり、会いに行こうとしたが、既に他界されていた。という内容です。

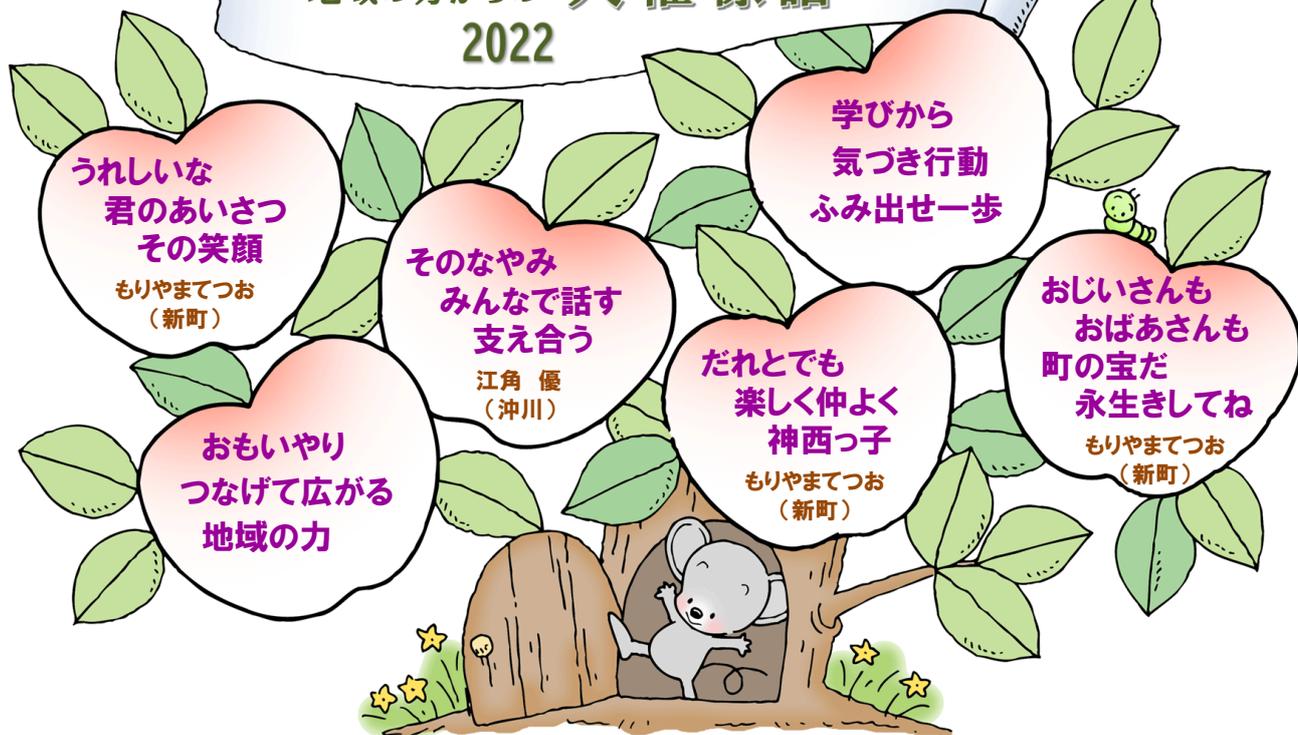
この授業の目標は、「人間にある弱さや



醜さを自覚しながらも、それを克服し気高く生きようとする実践意欲を養う。」です。生徒が話し合いたいことを考える流れで、弱い『私』と良心の呵責に悩む『私』の心の葛藤を生徒は実生活に結びつけて考えていました。

人権・同和教育に関して、神西小学校と河南中学校で教員が相互に行き来し、授業公開を行っています。小中で繋がった学びができるように、お互いに連携しながら人権・同和教育を進めています。

地域の方からの 人権標語 2022



今年も、人権標語にご協力いただき、ありがとうございました。
大事にしたい思いが詰まっています。

11月19日(土)に、神西小学校体育館において、「神西地区人権・同和教育研究発表会」が開催されました。ここで、令和3、4年度の2か年間の神西地区の取組の発表と前回の「えがお」でご紹介しました『鳥取県北条町ほくほくプラザ』の方による講演会が行われました。

その様子につきましては、今後の「えがお」でお知らせします。